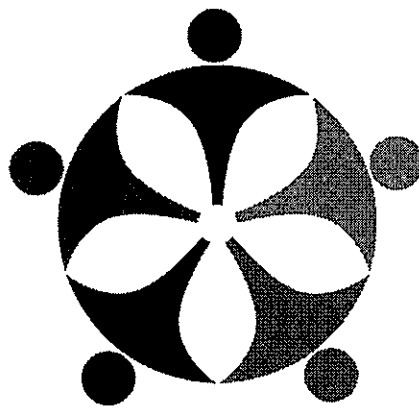


令和2年度

主要・新規事業等の概要



ちよどいいまち
ちよっどいいまち
これまでもこれからも
2020高浜市50th

高 浜 市

目 次

一 般 会 計

1 款 議 会 費

- №. 1 議会運営事業（ペーパーレス会議システム借上料等）
《債務負担行為》【新規】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

2 款 総 務 費

- №. 2 広報広聴事業（シティプロモーション支援業務委託）【新規】・・・・ 4
№. 3 市制施行50周年記念事業【新規】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
№. 4 総合行政推進事業（総合計画策定支援業務委託等）【新規】・・・・ 9
№. 5 防災活動事業（防災マップ作成業務委託）【新規】・・・・・・ 10

3 款 民 生 費

- №. 6 生活困窮者自立支援事業（アウトリーチ支援員）【新規】・・・・ 11
№. 7 保育園管理運営事業（施設型給付費）【継続】・・・・・・・・・・ 13

4 款 衛 生 費

- №. 8 母子保健事業（電子母子健康手帳アプリケーションシステム
使用料）【新規】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

8 款 土 木 費

- №. 9 交通安全指導啓発事業（高齢者後付安全運転支援装置設置費
補助金）【新規】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

10 款 教 育 費

- №. 10 児童生徒健全育成事業（スクールソーシャルワーカー謝礼）
【新規】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
№. 11 小学校維持管理事業（高取小学校大規模改造事業実施設計等
業務委託）【継続】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
№. 12 小学校維持管理事業（水泳指導等委託等）【継続】・・・・・・ 21
№. 13 小学校維持管理事業（吉浜小学校大規模改造事業実施設計等
業務委託）《債務負担行為》【新規】・・・・・・・・・・ 23
№. 14 小学校維持管理事業・中学校維持管理事業（小・中学校トイレ
改修工事設計業務委託）【新規】・・・・・・・・・・・・ 25
№. 15 高浜小学校等整備事業（高浜小学校等整備費（PFI事業）等）
【継続】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
№. 16 文化財保護事業（市誌編さん業務委託等）【継続】・・・・・・ 29

第6次高浜市総合計画における体系別 主要・新規事業一覧

I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

No. 1	議会運営事業（ペーパーレス会議システム借上料等） 《債務負担行為》	3
No. 2	広報広聴事業（シティプロモーション支援業務委託）	4
No. 3	市制施行50周年記念事業	5
No. 4	総合行政推進事業（総合計画策定支援業務委託等）	9

II 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

No. 7	保育園管理運営事業（施設型給付費）	13
No. 8	母子保健事業（電子母子健康手帳アプリケーション システム使用料）	15
No. 10	児童生徒健全育成事業（スクールソーシャルワーカー 謝礼）	17
No. 11	小学校維持管理事業（高取小学校大規模改造事業実施 設計等業務委託）	19
No. 12	小学校維持管理事業（水泳指導等委託等）	21
No. 13	小学校維持管理事業（吉浜小学校大規模改造事業実施 設計等業務委託）《債務負担行為》	23
No. 14	小学校維持管理事業・中学校維持管理事業（小・中学 校トイレ改修工事設計業務委託）	25
No. 15	高浜小学校等整備事業（高浜小学校等整備費（PFI 事業）等）	27
No. 16	文化財保護事業（市誌編さん業務委託等）	29

III 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

No. 5	防災活動事業（防災マップ作成業務委託）	10
No. 9	交通安全指導啓発事業（高齢者後付安全運転支援装置 設置費補助金）	16

IV いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう

No. 6	生活困窮者自立支援事業（アウトリーチ支援員）	11
-------	------------------------	----

主要・新規事業等

事業名等	議会運営事業 (ペーパーレス会議システム借上料等) 《債務負担行為》【新規】															
担当グループ	議会事務局議会グループ															
総合計画区分	基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう						個別目標	(2) 将来を見据えた 健全な財政運営を行います							
予算区分	会計	一般会計			款	01議会費			項	01議会費			目	01議会費		
	事業名: 03議会運営事業															
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない															
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<p>議会改革の推進による議会の活性化を目的として、平成27年度の議会改革特別委員会で、議員から議会資料のIT電子データ化ができないかということから始まり、タブレット端末による電子データの持込の可否とルールづくり、資料等のペーパーレス化、議場内モニターの活用による議員側資料の投影による説明の可視化等、議員自らが近隣自治体等を調査・研究及び検討を続けてきた。当市でも部長会等での導入が決まっており、近隣では西尾市、安城市が導入済みで、各自治体も導入の動きが見られる。</p>														
	目的(何のために)	<p>当局のペーパーレス会議に連動して議会にタブレットを導入し、①議員への配付資料を紙から電子データ化し、議案書などもクラウドに置き、議員が、いつ、どこでも、過去の資料までもを目にすることができるようにする。②議員招集及び資料配付を紙からメールにする等、議会改革を推進し、議会及び議員活動の活性化を図る。</p>														
	対象(誰・何を対象に)	全議員														
	事業内容(手段、手法など)	<p>ペーパーレス会議システム及びグループウェアをセットアップしたタブレット端末を議員に配付し、議員及び職員操作研修の後、6月議会・9月議会の仮運用を経て12月議会からの運用開始を目指すもので、タブレット端末でグループウェアにより議会招集通知、議会スケジュール管理、資料配布を行う。また、ペーパーレス会議システムで、議員への予算書等を始めとした資料配布を紙資料からクラウド上に置くことで、議場でのペーパーレス会議を実現する。</p>														
目指す成果(期待される効果)	<p>ペーパーレス会議システムを導入することで、①配付資料のペーパーレス化が進められる。また、過去の予算書などの資料を常時保持できることにより、議会での質疑等に資する。②緊急の議員招集等、それらに伴う資料配布が容易になる。</p>															
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)										達成時期(いつまでに)					
	<p>当局が実施する①議員への議案、予算・決算書、各種計画書等の配付を紙からデータにすることでペーパーレス化に寄与する。②緊急の議員招集、それに伴う資料配付を容易にする。</p>										令和2年12月					
令和2年度	事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)												
	2,780千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	352				2,428			
事業費積算内容	<p>【歳入】・タブレット端末借上料議員負担金 352千円(2,000円×16人×11月) 【歳出】・ペーパーレス会議システム導入支援業務委託料 264千円 ・ペーパーレス会議システム借上料 908千円 ・メール管理システム導入支援業務委託料 148千円 ・メール管理システム借上料 197千円 ・議場無線LAN整備工事費 226千円 ・電算機器端末借上料 957千円 ・消耗品費 80千円 【債務負担行為】期間:令和3年度~令和5年度 限度額:2,175千円</p>															
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期						
事業実施スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ● 契約 ● 議場無線LAN整備工事 ● タブレット端末納入 ● システム等セットアップ ● 議員及び職員操作研修 ● ペーパーレス会議仮運用開始 <p style="text-align: right;">12月議会 ● ペーパーレス会議本運用開始 →</p>															
予算書及び予算説明書該当ページ	89・264ページ															

主要・新規事業等

事業名等	広報広聴事業（シティプロモーション支援業務委託）【新規】											
担当グループ	企画部総合政策グループ											
総合計画区分	基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう				個別目標	(1) まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくります					
予算区分	会計	一般会計	款	02総務費	項	01総務管理費	目	08広報広聴活動費				
アクションプラン	■該当する □該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	令和2年度は、高浜市市制50周年という本市の魅力在全国に発信するとともに、高浜市民に対しても高浜市の魅力や取組を発信することで、まちに対する愛着・誇りを育む絶好の機会である。										
	目的（何のために）	高浜市の持つ「人・食・文化・産業・情報」など多様な魅力を強化あるいは発掘し、効果的な情報発信を行うことで、高浜市の魅力に共感し「高浜市に訪れたい」「応援したい」人を増やし、ヒト・モノ・カネなどの資源を獲得するとともに、市民のまちへの愛着と誇りを育むためのシティプロモーション支援を行う。										
	対象（誰・何を対象に）	全国及び市民										
	事業内容（手段、手法など）	(1) インターネットやSNSを通じたプロモーション活動 (2) ふるさと納税の返礼品の選定・発掘・開発 (3) 各種メディア等とのリレーション業務 (4) 広告掲載業務										
目指す成果（期待される効果）	■地場産品の発掘・開発や高浜市の魅力を全国に発信することで、高浜市のファンが増え、ふるさと応援寄附金が増える。 ■高浜市の良さに気づき、郷土への誇りを感じ、愛着が高まる。											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）	
	■ふるさと応援寄附金の増 3,500万円（本業務による影響額） ■ふるさと応援寄附金の返礼品の増 24品（1月あたり2品の増）										令和3年3月	
令和2年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）								
	2,189 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			2,189	
事業費積算内容	・シティプロモーション支援業務委託料 2,189千円											
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	☆契約締結			・B1グランプリでチラシ配布								
	インターネットやSNSを通じたプロモーション活動、地場産品の発掘											
						・広告、PR掲載						
予算書及び予算説明書該当ページ	99ページ											

主要・新規事業等			
事業名等	市制施行50周年記念事業【新規】		
担当グループ	企画部総合政策グループ		
総合計画区分	基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう	個別目標 (1) まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくります
予算区分	会計	一般会計	款 02総務費 項 01総務管理費 目 12企画費
アクションプラン	事業名 12市制施行50周年記念事業		
事業概要	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない		
事業の必要性・実施の背景	高浜市市制50周年という大きな節目の年を、第6次高浜市総合計画（2011年～2021年）に掲げている将来都市像「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」を達成するために、行政のみによる形式的な事業実施ではなく、市民の皆さんと行政が手と手を取り合い一緒にやって企画・立案し、自ら実践することのできる事業を実施していく。		
目的（何のために）	半世紀の時を経て、高浜市として次の50年を築き、100年を迎えていくための新たなスタートを切るため、これまでの50年間、高浜市を支えてきた先人たちの想いをこれからの50年を創っていく世代に伝えていくため。		
対象（誰・何を対象に）	市民		
事業内容（手段、手法など）	記念事業と記録・PR事業を実施する。 【記念事業】 <高浜市市民会議50企画事業> 市制施行50周年を盛り上げるため、市民によって結成された「高浜市市民会議50」で計画、実行する50周年記念事業。（6事業） ①テーマソング事業 ②おたかわら探し事業 ③わくわくワーク事業 ④笑顔の写真展事業 ⑤鬼みちまつりで50thオリジナルの灯り事業 ⑥オリジナル食べ物づくり事業 <市民募集アイデア事業> 市制50周年を盛り上げるため、市民、団体、企業等より募集した市制施行50周年を記念する事業アイデアを実施する事業。（12事業） ①PR動画制作 ②かわら記念グッズ制作 ③インスタで新名所づくり ④高浜アーカイブス ⑤イルミネーション事業 ⑥高浜50年ありがとう ごみ拾い ⑦市民合唱による第9演奏で50周年を祝う ⑧オリンピック・パラリンピックパブリックビューイング ⑨かわらメダル制作 ⑩高浜市民記録に挑戦 ⑪天野浩名古屋大学教授基調講演 ⑫張濱記念コンサート 【記録・PR事業】 広報誌やインターネット、SNSなど、各種媒体を使った積極的な情報発信により、市全体の50周年を祝う機運を高める。また記念誌や記念動画を制作する。		
目指す成果（期待される効果）	■50周年記念事業を通じて、市民がこれまでの50年を振り返ることで、高浜市の良さに気づき、郷土への誇りを感じ、愛着が高まる。 ■高浜市の魅力を市内外に発信することができる。 ■50周年の取組に参加した市民が高浜市のことを考えるきっかけとなり、まちづくりの新たな担い手の発掘につながる。		
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）		達成時期（いつまでに）
	高浜市市民会議50メンバーから次期総合計画の策定に関わる人材を発掘する。		令和3年3月

令和2年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源							
	23,746			9,058	14,688							
事業費 積算内容	◆報償費 562千円（◎講演等講師謝礼302千円 ◎市民合唱指導等謝礼160千円等） ◆消耗品費 573千円 ◆印刷製本費 2,067千円（記念誌、PR用ポスター、パンフレット、CDジャケット、地図等） ◆委託料 12,101千円（◎記念動画制作業務委託料3,869千円 ◎記念品制作業務委託料6,031千円 ◎記念演奏業務委託料1,100千円等） ◆使用料及び賃借料 8,443千円（◎公共施設等会場使用料174千円 ◎著作権使用料8,250千円等）											
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施 スケジュール	★12月1日 記念式典											
	◆テーマソング事業(高浜市市民会議50企画事業)											
	◆おたかわら探し事業(高浜市市民会議50企画事業)											
	◆わくわくワーク事業(7/25、26)											
	◆笑顔の写真展事業【5月～6月頃募集開始】						【展示・表彰】					
	◆鬼みちまつりでオリジナルの灯り事業 (10/17)											
	◆オリジナル食べ物づくり事業											
	●PR動画制作						【秋頃放送】					
	●かわら記念グッズ制作						【完成】					
	●インスタで新名所づくり											
							●高浜アーカイブス (鬼みちまつり、式典)					
							●イルミネーション 【12月～1月頃】					
							●高浜50年ありがとう ごみ拾い (秋の一斉清掃)					
							●市民合唱による第9演奏で50周年を祝う 【高小アリーナこけらおとして披露】					
							●オリンピック・パラリンピックビューイング (8月1日、30日)					
●かわらメダル制作						【7月頃完成】						
						●高浜市民記録に挑戦						
						●天野浩名古屋大学教授基調講演						
						●張濱(チャンペン氏)記念コンサート (11/7)						
□ 記念誌、記念動画完成												

主要・新規事業等

事業名等	総合行政推進事業（総合計画策定支援業務委託等）【新規】													
担当グループ	企画部総合政策グループ													
総合計画区分	基本目標	! みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう						個別目標	(1) まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくります					
予算区分	会計	一般会計	款	02総務費	項	01総務管理費	目	12企画費						
	事業名	14総合行政推進事業												
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	現行の第6次総合計画が令和3年度に満了を迎えることから、次期総合計画を策定する必要がある。												
	目的（何のために）	市民と行政がともに高浜市を作りあげていく「まちづくりの設計図」として、まちづくりの共通目標を掲げ、その実現に向けて必要な取り組み内容を盛り込んだ「高浜市の未来を描くまちづくりの設計図」として、第7次総合計画を策定するため。												
	対象（誰・何を対象に）	市全体												
	事業内容（手段、手法など）	令和元年度より庁内検討組織を立ち上げ、次期総合計画の策定のための市民会議（仮）や審議会の人選、指標の検討を始め、令和2年度に市民会議、審議会を行い総合計画案の検討を行うなど、市民と行政の協働により、計画案を作成する。												
目指す成果（期待される効果）	取り組むメニューを列挙するのではなく、地域課題（地域計画からエッセンスを取り込む）や未来予測を踏まえた、戦略的な計画を策定する。													
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）			
	第7次総合計画が策定される。										令和4年3月			
令和2年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）										
	4,999 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					4,999	
事業費積算内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆総合計画策定支援業務委託料 3,605千円 ◆総合計画審議会委員報酬 404千円 ◆アドバイザー謝礼 795千円 ◆市民意識調査封入等業務委託料 50千円 ◆特別旅費 33千円 ◆消耗品費 62千円 ◆食糧費 50千円 													
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%;"> <p>(審議会)</p> <p>(市民会議)</p> <p>メンバー募集</p> <p>(策定プロジェクト)</p> <p>人工知能活用による未来シミュレーション</p> <p>☆SDGs説明会</p> </div> <div style="width: 25%;"> <p>概要・全体構想の検討</p> </div> <div style="width: 25%;"> <p>基本方針の検討・作成</p> </div> <div style="width: 25%;"> <p>構成・フォーマット・指標の検討</p> <p>基本構想（素案）検討</p> <p>講演会☆</p> </div> </div>													
	☆審議会設置・開催													
	☆市民会議キックオフ・開催													
	10月													
予算書及び予算説明書該当ページ	107ページ													

主要・新規事業等

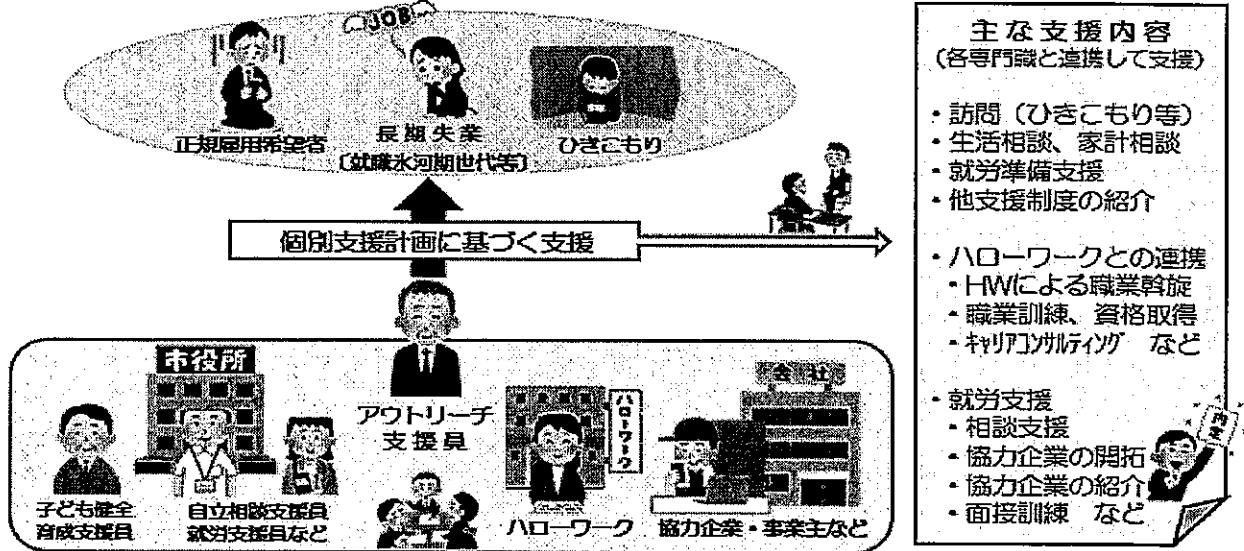
事業名等		防災活動事業（防災マップ作成業務委託）【新規】										
担当グループ		都市政策部防災防犯グループ										
総合計画区分		基本目標：Ⅲ 明日を生み出すエネルギーやる気を活かせるまちをつくろう					個別目標：(9) 安全・安心が実感できるまちづくりを進めます					
予算区分		会計：一般会計		款：02総務費		項：01総務管理費		目：18防災対策費				
アクションプラン		■該当する □該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	平成16年度の水害ハザードマップ、平成26年度の地震防災マップの作成後、新たな被害想定として、平成28年5月の「矢作川最大浸水想定」などが公表された。加えて、令和元年度には「稗田川浸水想定」が公表される予定である。近年の災害の大型化などを踏まえ、最新のマップを作成し市民等への周知と活用を図り、災害に対する意識を高めてもらう必要がある。										
	目的（何のために）	最新の被害想定や災害により異なる避難場所及び対策などを盛り込んだ防災マップを作成し、市民等に配布し活用してもらうことで、自身や家族、地域における防災・減災意識を高めてもらうとともに、適切かつ迅速な避難行動の推進を図るため。										
	対象（誰・何を対象に）	市民等										
	事業内容（手段、手法など）	<p>マップの構成：</p> <p>①矢作川・稗田川洪水 ②土砂災害 ③津波 ④震度分布 ⑤液状化 B3両面（表面：被害想定、利用可能な避難場所等、裏面：対策等）</p> <p>⑥表紙（新たなマップの追加にも対応可能）</p> <p>印刷枚数：25,000枚</p> <p>*高潮については、令和3年度に新たな被害想定公表が予定されていることから、令和4年度以降にマップを作成していく予定。</p>										
目指す成果（期待される効果）	最新の被害想定に基づき、居住する地域の災害リスク、避難場所や避難所等を把握し、避難ルート等を確認する中で、災害時における適切かつ迅速な避難行動の推進を図り、市民の生命及び財産を守る。											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）								達成時期（いつまでに）			
	防災マップを作成し、令和3年の出水期前までに市民等に配布するとともに、高浜市公式ホームページ等にも掲載する。								令和3年5月			
令和2年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
	10,472千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
				2,792					7,680			
事業費積算内容	防災マップ作成業務委託料 10,472千円（災害リスク別マップ（B3両面×5種類）、表紙、印刷枚数：25,000枚）											
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	補助金申請・交付決定											
	契約事務											
				防災マップ作成								
				(R3.5：全世帯配布及び公式ホームページ等への掲載)								
補正予算書及び説明書該当ページ		113ページ										

主要・新規事業等

事業名等	生活困窮者自立支援事業 (アウトリーチ支援員)【新規】		予算事業名	会計年度任用職員管理事業								
担当グループ	福祉部地域福祉グループ		予算所管グループ	企画部秘書人事グループ								
総合計画区分	基本目標: IV いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう	個別目標	(10)一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます									
予算区分	会計: 一般会計	款: 03民生費	項: 01社会福祉費	目: 01社会福祉総務費								
アクションプラン	事業名: 02会計年度任用職員管理事業											
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<p>現在、35～44歳を中心とする、いわゆる「就職氷河期世代」は、雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代であり、不安定な仕事や無職等の状態にある方が多い傾向にある。こうした中、国が令和2年度から3年間の支援プログラムを策定し、同世代の活躍の場を広げるために必要な施策を実施することに伴い、市においても新たな施策を実施する。</p>										
	目的(何のために)	<p>就職氷河期世代を対象に、正規職員等の安定した仕事を希望しているにもかかわらず不安定就労や長期失業、ひきこもり等の状態にある方の就労・増収等を支援することで、生活保護や生活困窮に陥ることを未然に防ぐ。</p>										
	対象(誰・何を対象に)	<p>正規雇用希望者や長期失業者、ひきこもり等で将来的に生活困窮や社会的孤立のおそれがある方</p>										
	事業内容(手段、手法など)	<p>正規雇用希望者や長期失業者、ひきこもり等で生活困窮や社会的孤立のおそれがある方を支援する「アウトリーチ支援員」を自立相談支援機関に配置し、自立相談支援員や就労支援員、ハローワークなどと連携して、支援対象者の社会参加や就労、増収をサポートする。</p>										
目指す成果(期待される効果)	<p>支援が必要な方の社会参加や就労、増収を支援し、精神的・経済的な自立を促すとともに、生活保護や生活困窮に陥ることを未然に防止する。</p>											
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)				達成時期(いつまでに)							
	<p>要支援者の状況に応じ訪問や面接等を行い、1年間につき10人以上を支援する。</p>				令和5年3月							
令和2年度	事業費(経費)		財源内訳(単位:千円)									
	2,999千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
事業費積算内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員報酬 2,259千円 ・期末手当 319千円 ・社会保険料 389千円 ・雇用保険料 24千円 ・労災保険料 8千円 											
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール												
予算書及び予算説明書該当ページ	127ページ											

アウトリーチ支援員について

- 正規雇用希望者や長期失業者、引きこもりなどで生活困難や社会的孤立状態にある方を支援するための「アウトリーチ支援員」を自立相談支援機関に配置し、社会参加や就労をサポートする。
- 自立相談支援員や就労支援員、子ども健全育成支援員、ハローワーク等と連携し、要支援者の状況に応じ、訪問支援や家計相談、就職支援等、継続的な支援を行う。



主要・新規事業等

事業名等	保育園管理運営事業（施設型給付費）【継続】													
担当グループ	こども未来部こども育成グループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(5) 子育て・子育てを支える環境を整えます					
予算区分	会計	一般会計			款	03民生費		項	02児童福祉費		目	02保育サービス費		
事業名	03保育園管理運営事業													
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<ul style="list-style-type: none"> 3歳未満児で待機児童が発生している。 保育園は入園希望者が定員を上回っているが、公立幼稚園では定員割れが続いている。 												
	目的（何のために）	<ul style="list-style-type: none"> 安心してこどもを産み、育てられるよう、保育ニーズに対応した子育て環境を整える。 												
	対象（誰・何を対象に）	就学前の児童及びその家族												
	事業内容（手段、手法など）	<ul style="list-style-type: none"> 施設型給付施設である幼保連携型認定こども園の2園（翼幼保園、たかとりこども園）及び令和2年4月開所予定のたかはまこども園（幼保連携型認定こども園）の運営費となる施設型給付費を施設運営主体の法人に毎月給付する。 公定価格－利用者負担額＝施設型給付費（給付額） ※令和元年10月より3歳以上児及び住民税非課税世帯の3歳未満児の利用者負担額は無料 												
目指す成果（期待される効果）	<ul style="list-style-type: none"> 安心してこどもを産み、育てられるような、保育ニーズに対応した子育て環境の整備が進む。 民間法人の運営により、保育サービスの充実が図られる。 													
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）			
	令和2年4月開所予定のたかはまこども園（幼保連携型認定こども園）で定員198名の児童を受け入れる。（1歳児10人、2歳児18人は新設）										令和2年4月			
令和2年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）										
	389,869 千円			国庫支出金	173,896	県支出金	96,800	地方債	その他	一般財源	119,173			
事業費積算内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設型給付費 389,869千円 <ul style="list-style-type: none"> （うち たかはまこども園分 107,481千円） （うち たかとりこども園分 149,363千円） （うち 翼幼保園分 133,025千円） 													
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール	事業運営 ←—————→													
予算書及び予算説明書該当ページ	149ページ													

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成27年度 ～ 令和元年度	総事業費	686,279千円			
これまでの 主な取組 と成果	市内の認定こども園2園（翼幼保園、たかとりこども園）及び市外の認定こども園（広域入所）の利用児童を受け入れた。					
令和元年度 (予算)	取組内容	市内の認定こども園2園（翼幼保園、たかとりこども園）及び市外の認定こども園（広域入所）の利用児童を受け入れた。				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	267,161 千円	101,774	56,729			108,658
主な 経費	<ul style="list-style-type: none"> ・施設型保育給付費 267,161千円【補正予算後】 <li style="padding-left: 20px;">（うち たかとりこども園分 142,258千円） <li style="padding-left: 20px;">（うち 翼幼保園分 124,903千円） 					
平成30年度 (決算)	取組内容	市内の認定こども園1園（翼幼保園）及び市外の認定こども園（広域入所）の利用児童を受け入れた。				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	107,001 千円	36,057	18,988			51,956
主な 経費	<ul style="list-style-type: none"> ・施設型保育給付費 107,001千円 <li style="padding-left: 20px;">（うち 翼幼保園分 106,180千円） 					

主要・新規事業等

事業名等	母子保健事業 (電子母子健康手帳アプリケーションシステム使用料) 【新規】															
担当グループ	福祉部健康推進グループ															
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(5) 子育て・子育てを支える環境を整えます							
予算区分	会計	一般会計			款	04衛生費			項	01保健衛生費			目	02保健・予防費		
	事業名: 02母子保健事業															
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない															
事業概要	事業の必要性・実施の背景	スマートフォン（スマホ）をお持ちの方が増え、身近な情報ツールとして定着しつつある。電子母子健康手帳の機能を活用し、紙ベースの母子健康手帳を補完する形での子育て支援策を実施する。														
	目的（何のために）	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が健診や子育ての記録を電子データとして保管することで、いつでも子どもの成長記録をスマホで確認できるようにする。 保護者が予防接種のスケジュールや接種履歴を確認できるようにする。 外国籍の保護者が、母国語で子どもの記録を確認できるようにする。 														
	対象（誰・何を対象に）	母子健康手帳の所持者やその家族														
	事業内容（手段、手法など）	スマホに入れた電子母子健康手帳アプリに子どもの成長を入力することで、現行の母子健康手帳と併用することができる。また、スマホを通して子どもの成長記録や予防接種履歴を確認できるようにする。														
目指す成果（期待される効果）	子どもの身長や体重を始めとした健診結果や予防接種履歴が一目で確認できるようになるとともに、外国籍児の保護者が母国語で子どもの記録を確認することで、発育等への不安の解消を図る。															
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）					
	アプリケーションソフトを導入し、対象者の利用を開始する。										令和2年6月					
令和2年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）												
	550 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			550					
事業費積算内容	電子母子健康手帳アプリケーションシステム使用料 550千円															
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期						
事業実施スケジュール	業者選定	利用準備	アプリ利用開始													
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; width: 100%;"> ホームページ・広報への掲載、保健事業での周知 </div>															
予算書及び予算説明書該当ページ	163ページ															

主要・新規事業等

事業名等		交通安全指導啓発事業 (高齢者後付安全運転支援装置設置費補助金) 【新規】										
担当グループ		都市政策部防災防犯グループ										
総合計画区分		基本目標 Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう					個別目標 (9) 安全・安心が実感できる まちづくりを進めます					
予算区分		会計 一般会計		款 08土木費		項 08交通安全対策費		目 02交通安全啓発費				
アクションプラン		■該当する □該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	高齢ドライバーによる交通事故が全国各地で発生している。関係機関と連携し運転免許証の自主返納を促す啓発活動等を推進する一方で、自分は大丈夫と思っている高齢者も多いのが実情である。超高齢化社会を迎え、今後も高齢ドライバーの増加が見込まれる中、悲惨な交通事故を防ぐためにも、運転マナーの向上に加え、安全運転支援装置の設置などのハード対策も推進し、より安全に運転できる環境を整備していく必要がある。										
	目的 (何のために)	高齢者への交通安全対策の一つとして、安全運転支援装置の普及を図り、高齢ドライバーへの安全運転環境を整備することで、交通事故防止及び交通事故発生件数を減少させるため。										
	対象 (誰・何を対象に)	満65歳以上の市民(運転免許証保有者) (予定)										
	事業内容 (手段、手法など)	満65歳以上のドライバー名義の自家用車に後付安全運転支援装置を設置する際に設置費の一部を補助する。 ①補助率：4/5(予定) ②補助限度額：最大6万円(予定) ③補助対象装置：国が実施する先行個別認定を受けた後付安全運転支援装置(予定) ④補助事業実施期間：令和2年4月～令和3年3月(予定) ※本事業については、国や愛知県においても補助要綱の整備等が進められており、その動向によっては、事業内容を変更する可能性があります。(令和2年1月28日時点)										
目指す成果 (期待される効果)		高齢ドライバーの安全運転環境が整備され、交通事故防止及び交通事故発生件数の減少に繋がる。										
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)		目標(何をどのようにする) 人口1,000人当たりの交通事故発生件数を年間3件以内とする。 (第6次高浜市総合計画(基本計画)みんなで目指すまちづくり指標)								達成時期(いつまでに) 令和4年3月		
令和2年度	事業費(経費)		財源内訳(単位：千円)									
	2,160千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			2,160		
事業費積算内容		高齢者後付安全運転支援装置設置費補助金 2,160千円 (60千円×36件)										
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	補助制度の開始											
	広報たかひま、高浜市公式ホームページ、交通安全講話、高齢者イベント等での周知											
補正予算書及び説明書該当ページ		199ページ										

主要・新規事業等

主要・新規事業等												
事業名等	児童生徒健全育成事業（スクールソーシャルワーカー謝礼）【新規】											
担当グループ	教育委員会学校経営グループ											
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう	個別目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます								
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費	項	01教育総務費	目	03教育指導費				
アクションプラン	事業名: 03児童生徒健全育成事業											
	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働き掛けて支援を行う、スクールソーシャルワーカーを教育委員会・学校等に配置し、教育相談体制を整備する。										
	目的（何のために）	スクールソーシャルワーカーを教育委員会・学校等に配置し、問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働き掛け、関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整、学校内におけるチーム体制の構築、支援、保護者・教職員等に対する支援・相談・情報提供、教職員等への研修活動を実施するため。										
	対象（誰・何を対象に）	市内小中学校の児童・生徒										
	事業内容（手段、手法など）	①問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働き掛け ②関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整 ③学校内におけるチーム体制の構築、支援 ④保護者・教職員等に対する支援・相談・情報提供 ⑤教職員等への研修活動										
目指す成果（期待される効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールソーシャルワーカーを設置することで、家庭・学校・地域など子どもが置かれた環境の問題に働きかけ、改善することができるようになる。 ・スクールソーシャルワーカー設置事業を実施することで、関係機関（福祉・児童相談センター・学校など）と連携・調整し、効果的な解決を図ることができるようになる。 											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）	
	問題を抱えた児童生徒を取り巻く環境に働きかけ、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、児童生徒の悩みや抱えている問題の解決に向けて支援をする。										令和3年3月	
令和2年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
	2,406 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
				800		1,606						
事業費積算内容	スクールソーシャルワーカー謝礼 2,406千円											
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	事業内容①～⑤を実施する。											
予算書及び予算説明書該当ページ		205ページ										

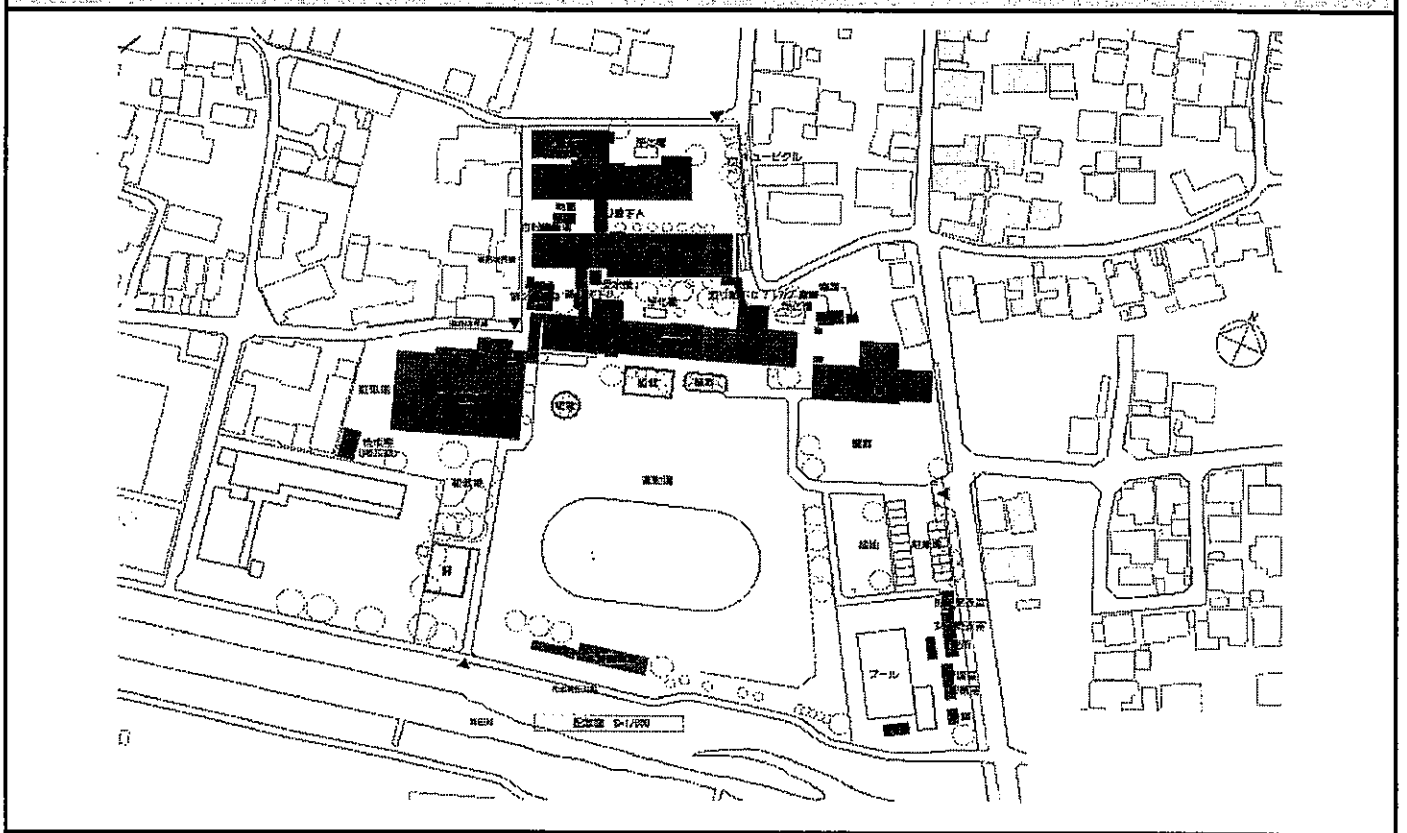
主要・新規事業等

事業名等	小学校維持管理事業 (高取小学校大規模改造事業実施設計等業務委託) 【継続】													
担当グループ	教育委員会学校経営グループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費	項	02小学校費	目	01学校管理費						
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	高取小学校は、南校舎が築53年、北校舎が築43年と老朽化が進んでおり、今後も厳しい財政状況が予想される中では、効果的・効率的に長寿命化対策を行い、校舎を長く使っていくことが欠かせない。												
	目的 (何のために)	高取小学校を将来にわたって長く使い続けるための大規模改造工事に向けた実施設計等を行うため。												
	対象 (誰・何を対象に)	高取小学校校舎等												
	事業内容 (手段、手法など)	高取小学校の大規模改造に向けた実施設計を行う。 ・経年による外壁等の劣化の改修 ・水道、電気、ガス管等のライフラインの更新 ・建物の機能や性能を向上させるもの ・学校現場との協議等 【設計～工事スケジュール】 令和元～3年度：設計業務・交付金申請、令和4～6年度：大規模改造工事												
目指す成果 (期待される効果)	物理的な不具合を直すとともに、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる大規模改造につなげ、学校施設の長寿命化を図る。													
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標 (何をどのようにする)										達成時期 (いつまでに)			
	高取小学校の大規模改造に向けた実施設計等を完了する。										令和4年3月			
令和2年度	事業費 (経費)			財源内訳 (単位：千円)										
	33,664 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					33,664	
事業費積算内容	≪現年度予算≫※債務負担行為限度額内の現年度予算 ・高取小学校大規模改造事業実施設計等業務委託料 33,664千円 ≪債務負担行為≫ 期間：令和3年度 残額：高取小学校大規模改造事業実施設計等業務委託料 26,919千円 ≪合計≫ 60,583千円													
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール	実施設計													
予算書及び予算説明書該当ページ	209・258ページ													

これまでの主な取組と成果

事業年度	令和元年度	総事業費	10,687千円			
これまでの主な取組と成果	基本設計を実施し、今後の実施設計及び工事に向けた準備を進めることができた。					
令和元年度 (予算)	取組内容	基本設計の実施				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	10,687 千円					10,687
主な経費	高取小学校大規模改造事業実施設計等業務委託料(1年目)			10,687千円		

資料等(位置図等)



主要・新規事業等

事業名等		小学校維持管理事業（水泳指導等委託等）【継続】										
担当グループ		教育委員会学校経営グループ										
総合計画区分		基本目標：Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう					個別目標：(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分		会計：一般会計		款：10教育費		項：02小学校費		目：01学校管理費				
		事業名：01小学校維持管理事業										
アクションプラン		<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	勤労青少年ホーム跡地活用事業として、学校プール機能を有する民間施設を活用した新たな水泳指導の取り組みを進めていく必要があるため。										
	目的（何のために）	【水泳指導】体育科における水泳指導を委託することにより、プール施設、指導補助業務及び移動手段を確保し、当該校における円滑な水泳指導に資するため。 【プール開放】夏季休暇中のプール開放を委託することにより、プール施設及び移動手段を確保し、当該校における円滑なプール開放に資するため。										
	対象（誰・何を対象に）	高浜小学校・高取小学校の全児童										
	事業内容（手段、手法など）	《実施内容》水泳指導とプール開放を実施する。 《手段・手法》 【水泳指導】㈱コパンに委託することで、プール施設及び移動手段を確保し、教員と共にインストラクターから水泳指導を受けることができる。 【プール開放】㈱コパンに委託することで、プール施設及び移動手段を確保することができる。										
目指す成果（期待される効果）	<ul style="list-style-type: none"> 水泳授業の充実により児童の泳力が向上する。 プールの維持管理にかかる労力や費用を減らすことができる。 											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）	
	高浜小学校、及び高取小学校における水泳指導を委託することにより、円滑な水泳授業を実施する。										令和2年9月	
令和2年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
	5,687 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				5,687	
事業費積算内容	水泳指導等委託料 水泳授業：（高小646人＋取小534人）×800円×5回×1.1＝5,192千円 夏期水泳指導等委託料 プール開放：75,000円×3日×2校×1.1＝495千円											
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール		○契約		○水泳授業委託								
				→								
					○プール開放							
				→								
予算書及び予算説明書該当ページ	209ページ											

これまでの主な取組と成果

事業年度	令和元年度	総事業費	3,095千円		
これまでの 主な取組 と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・高浜小学校の水泳授業は6月～7月にかけて各学年5回ずつ実施した。 ・高浜小学校の夏季プール開放は学年の出校日に合わせて、1回ずつ実施した。 ・令和2年度の民間プール活用に向けて、高取小学校が試行的に水泳授業委託を実施した。 ・委託した水泳指導では、インストラクターと教員とのチームティーチングによりぎめ細やかで効果的な指導ができた。 ・教員のプールの維持管理にかかる労力や費用を減らすことができた。 				
令和元年度 (予算)	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳授業は6月～7月にかけて各学年5回ずつ実施した。 ・夏季プール開放は学年の出校日に合わせて、1回ずつ実施した。 			
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）			
	3,095 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
					3,095
主な 経費	水泳指導等委託料 2,852千円 夏期水泳指導等委託料 243千円				

主要・新規事業等

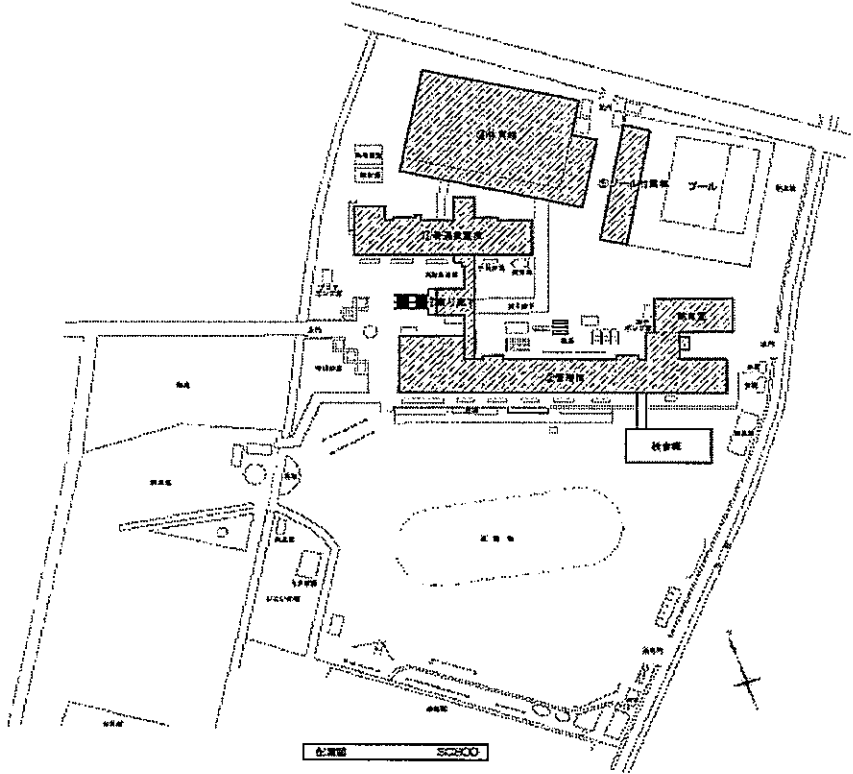
事業名等	小学校維持管理事業 (吉浜小学校大規模改造事業実施設計等業務委託) <債務負担行為> 【新規】													
担当グループ	教育委員会学校経営グループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分	会計	一般会計			款	10教育費		項	02小学校費		目	01学校管理費		
事業名	01小学校維持管理事業													
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	吉浜小学校は、建築後49年が経過し、老朽化が進んでおり、今後も厳しい財政状況が予想される中では、効果的・効率的に長寿命化対策を行い、校舎を長く使っていくことが欠かせない。												
	目的(何のために)	吉浜小学校を将来にわたって長く使い続けるための大規模改造工事に向けた実施設計等を行うため。												
	対象(誰・何を対象に)	吉浜小学校校舎等												
	事業内容(手段、手法など)	吉浜小学校の大規模改造に向けた実施設計を行う。 ・経年による外壁等の劣化の改修 ・水道、電気、ガス管等のライフラインの更新 ・建物の機能や性能を向上させるもの ・学校現場との協議等 【設計～工事スケジュール】 令和2～3年度：設計業務、令和4年度：交付金申請、令和5～6年度：大規模改造工事												
目指す成果(期待される効果)	物理的な不具合を直すとともに、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる大規模改造につなげ、学校施設の長寿命化を図る。													
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)										達成時期(いつまでに)			
	吉浜小学校の大規模改造に向けた実施設計等を完了する。										令和4年3月			
令和2年度	事業費(経費)			財源内訳(単位：千円)										
	26,345 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					26,345	
事業費積算内容	<<現年度予算>> ・吉浜小学校大規模改造事業実施設計等業務委託料 26,345千円 <<債務負担行為>> 期間：令和3年度 限度額：吉浜小学校大規模改造事業実施設計等業務委託料 72,274千円 <<合計>> 98,619千円													
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール	契約手続き			基本設計										
予算書及び予算説明書該当ページ	209・264ページ													

資料等 (位置図等)



位置図

区分	用途	延床面積	容積率	備考
1	講義室	5,000㎡	100%	
2	実習室	10,000㎡	200%	
3	図書室	2,000㎡	40%	
4	事務室	1,000㎡	20%	
5	学生寮	10,000㎡	200%	
6	体育館	5,000㎡	100%	
7	校舎	10,000㎡	200%	
8	校舎	10,000㎡	200%	
9	校舎	10,000㎡	200%	
10	校舎	10,000㎡	200%	
11	校舎	10,000㎡	200%	
12	校舎	10,000㎡	200%	
13	校舎	10,000㎡	200%	
14	校舎	10,000㎡	200%	
15	校舎	10,000㎡	200%	
16	校舎	10,000㎡	200%	
17	校舎	10,000㎡	200%	
18	校舎	10,000㎡	200%	
19	校舎	10,000㎡	200%	
20	校舎	10,000㎡	200%	
21	校舎	10,000㎡	200%	
22	校舎	10,000㎡	200%	
23	校舎	10,000㎡	200%	
24	校舎	10,000㎡	200%	
25	校舎	10,000㎡	200%	
26	校舎	10,000㎡	200%	
27	校舎	10,000㎡	200%	
28	校舎	10,000㎡	200%	
29	校舎	10,000㎡	200%	
30	校舎	10,000㎡	200%	
31	校舎	10,000㎡	200%	
32	校舎	10,000㎡	200%	
33	校舎	10,000㎡	200%	
34	校舎	10,000㎡	200%	
35	校舎	10,000㎡	200%	
36	校舎	10,000㎡	200%	
37	校舎	10,000㎡	200%	
38	校舎	10,000㎡	200%	
39	校舎	10,000㎡	200%	
40	校舎	10,000㎡	200%	
41	校舎	10,000㎡	200%	
42	校舎	10,000㎡	200%	
43	校舎	10,000㎡	200%	
44	校舎	10,000㎡	200%	
45	校舎	10,000㎡	200%	
46	校舎	10,000㎡	200%	
47	校舎	10,000㎡	200%	
48	校舎	10,000㎡	200%	
49	校舎	10,000㎡	200%	
50	校舎	10,000㎡	200%	



主要・新規事業等

事業名等	小学校維持管理事業・中学校維持管理事業 (小・中学校トイレ改修工事設計業務委託) 【新規】													
担当グループ	教育委員会学校経営グループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費	項	02小学校費・03中学校費	目	01学校管理費						
事業名	01小学校維持管理事業・02中学校維持管理事業													
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	トイレの洋式化について、老朽化が進んでいる港小学校、高浜中学校、南中学校については、大規模改造工事の前倒しとして改修していく必要がある。なお、大規模改造工事の設計業務に着手した高取小学校及び着手する吉浜小学校は大規模改造工事に合わせて改修を実施する。												
	目的(何のために)	学校トイレの洋式化、乾式化により、教育環境が向上し、自宅の洋式トイレで育った世代の児童生徒が安心した学校生活を送れるようにするため。												
	対象(誰・何を対象に)	港小学校、高浜中学校、南中学校の児童生徒												
	事業内容(手段、手法など)	既存の和式便器の洋式便器への取り替え、及び湿式トイレから乾式トイレへ改修するための工事設計業務を実施する。												
目指す成果(期待される効果)	学校施設の衛生面、安全面、使い勝手など、教育環境の向上につながる。													
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)										達成時期(いつまでに)			
	トイレの洋式化に向けて、港小学校、高浜中学校、南中学校のトイレ改修工事設計業務を完了する。										令和3年3月			
令和2年度	事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)										
	18,238千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	18,238					
事業費積算内容	小学校トイレ改修工事設計業務委託料(港小) 6,080千円 中学校トイレ改修工事設計業務委託料(高中・南中) 12,158千円 計 18,238千円													
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール	契約手続き			小中学校トイレ改修工事設計										
予算書及び予算説明書該当ページ	209・213ページ													

主要・新規事業等

事業名等	高浜小学校等整備事業 (高浜小学校等整備費(PFI事業)等)【継続】													
担当グループ	教育委員会学校経営グループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費	項	02小学校費	目	03学校建設費						
事業名	01高浜小学校等整備事業													
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	◇本事業が公共施設のあり方のモデルとなるよう、学校を核として他の公共施設の複合化・集約化を進める必要がある。												
	目的(何のために)	★将来の公共施設の更新や大規模改修に必要な費用を把握し、長寿命化や施設機能の集約等により、サービス水準を低下させずに、公共施設の総量を圧縮するため。 ★高浜小学校を多様な学習環境への対応や、地域での多目的活用を含めた変化へ柔軟に対応できる学校施設に整備するため。												
	対象(誰・何を対象に)	児童・市民												
	事業内容(手段・手法など)	【事業内容】 ◆二期工事(体育館・サブアリーナ・児童センターの工事) ◆三期工事(駐車場の整備) ◆事業者と工事に係る調整・協議を行う。 ◆実施設計に基づく備品・配置等を学校と調整を行う。												
目指す成果(期待される効果)	多様な利活用が可能な学校施設へと転換することで、新たな学びの場の創出につながっている。													
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)										達成時期(いつまでに)			
	令和3年4月からの全面供用開始に向け、関係者との調整を図りながら、建設工事及び引越しをスケジュール通りに実施する。										令和3年3月			
令和2年度	事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)										
	1,522,439千円			国庫支出金	75,000	県支出金		地方債	1,226,300	その他	35	一般財源	221,104	
事業費積算内容	高浜小学校等整備費(PFI事業) 1,482,486千円 高浜小学校等維持管理業務委託料 21,916千円 高浜小学校等整備事業建設・維持管理モニタリング業務委託料 17,433千円 高浜小学校引越業務委託料 604千円													
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール	二期工事(体育館・サブアリーナ・児童センター)													
							三期工事(駐車場)							
	維持管理													
予算書及び予算説明書該当ページ	211ページ													

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成26年度 ～ 令和元年度	総事業費	2,150,216千円														
これまでの主な取組と成果	<p>平成26年度は、市職員と教職員とで、各教室・諸室の必要性や他市の複合化事例を情報共有し、複合化施設の検討を行ったり、市民を交えたワークショップを開催し、情報共有や提供サービスを検討した。</p> <p>平成27年度からは、事業者募集に向けた事業条件を整理し、平成28年度に事業者の選定を行った。</p> <p>その後、施設の基本設計・実施設計を実施し、平成30年1月より建設工事に着手、平成31年2月末に一期工事が完了し、同年3月に二期工事に着手した。</p>																
令和元年度 (予算)	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆高浜小学校の工事 ◆事業者と工事に係る調整・協議を行った。 ◆実施設計に基づく備品・配置等を学校と調整を行った。 															
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)															
	83,209 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源											
				23,000	35	60,174											
主な経費	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">高浜小学校等整備費(PFI事業)</td> <td style="text-align: right;">58,539千円</td> </tr> <tr> <td>高浜小学校等維持管理業務委託料</td> <td style="text-align: right;">17,714千円</td> </tr> <tr> <td>高浜小学校等整備事業建設・維持管理モニタリング業務委託料</td> <td style="text-align: right;">6,956千円</td> </tr> </table>					高浜小学校等整備費(PFI事業)	58,539千円	高浜小学校等維持管理業務委託料	17,714千円	高浜小学校等整備事業建設・維持管理モニタリング業務委託料	6,956千円						
高浜小学校等整備費(PFI事業)	58,539千円																
高浜小学校等維持管理業務委託料	17,714千円																
高浜小学校等整備事業建設・維持管理モニタリング業務委託料	6,956千円																
平成30年度 (決算)	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆高浜小学校の工事 ◆事業者と工事に係る調整・協議を行った。 ◆実施設計に基づく備品・配置等を学校と調整を行った。 ◆引越し作業を計画的に行った。 															
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)															
	2,022,479 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源											
		512,683	22,464	1,313,000		174,332											
主な経費	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">高浜小学校整備事業費(PFI事業)</td> <td style="text-align: right;">1,982,342千円</td> </tr> <tr> <td>高浜小学校等整備事業建設・維持管理モニタリング業務委託料</td> <td style="text-align: right;">10,746千円</td> </tr> <tr> <td>高浜小学校引越業務委託料</td> <td style="text-align: right;">2,122千円</td> </tr> <tr> <td>高浜小学校竣工式会場設営業務委託料</td> <td style="text-align: right;">49千円</td> </tr> <tr> <td>庁用器具費</td> <td style="text-align: right;">26,957千円</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td style="text-align: right;">263千円</td> </tr> </table>					高浜小学校整備事業費(PFI事業)	1,982,342千円	高浜小学校等整備事業建設・維持管理モニタリング業務委託料	10,746千円	高浜小学校引越業務委託料	2,122千円	高浜小学校竣工式会場設営業務委託料	49千円	庁用器具費	26,957千円	通信運搬費	263千円
高浜小学校整備事業費(PFI事業)	1,982,342千円																
高浜小学校等整備事業建設・維持管理モニタリング業務委託料	10,746千円																
高浜小学校引越業務委託料	2,122千円																
高浜小学校竣工式会場設営業務委託料	49千円																
庁用器具費	26,957千円																
通信運搬費	263千円																

主要・新規事業等

事業名等		文化財保護事業（市誌編さん業務委託等）【継続】										
担当グループ		こども未来部文化スポーツグループ										
総合計画区分		基本：Ⅱ 学び合い 力を合わせて 目標：豊かな未来を育もう					個別：（3）学び・文化・スポーツの輪を広げ、 目標：まちのチカラを育みます					
予算区分		会計：一般会計		款：10教育費			項：05社会教育費			目：06文化財保護費		
アクションプラン		■該当する □該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	「高浜市誌」が発行されてから約40年が経過し、この間、市の状況は大きく変化してきた。しかし、まちのあゆみを知ることができる貴重な資料の保存や人々の中にある記憶を記録にとどめる作業は不十分であり、市民の共有財産である資料等の散逸・消失を防ぐことが大きな課題となっている。歴史を途切れさせることなく後世へ伝え、今を生きる私たち、そして将来のまちづくりに活かせるようにしていくことが必要である。「タカハマ！まるごと宝箱」事業の効果で、地域の歴史・文化の保存や継承に対する市民機運が高まりを見せている今、高浜の歴史を途切れることなく継承させ、未来の市民へ受け継ぐ取り組みを行う必要がある。										
	目的（何のために）	まちのあゆみを知ることができる有形・無形の貴重な資料等を保存し、後世へ伝えるため。まちの歴史や人々のまちへの想い・記憶を知ることにより、まちへの愛着・誇りを高め、現在・将来のまちづくりに活かしていくため。										
	対象（誰・何を対象に）	市民										
	事業内容（手段、手法など）	市民と行政が協働で、高浜の歴史・伝統・産業・文化等について資料収集や調査を行う。その後、幅広い年代が活用できるよう、わかりやすさを意識し、従来の「町誌」「市誌」「市誌資料」に収められていない市制施行以降のあゆみを重点的にまとめた新しい市誌を発行する。 ＜令和2年度の主な事業内容＞ ・新編高浜市誌「高浜市のあゆみ」の発行 ・「高浜市のあゆみ資料④」（別冊資料）の発行 ・「高浜市のあゆみ」発行記念シンポジウムの開催 ・広報への事業進捗状況の掲載										
目指す成果（期待される効果）	まちのあゆみを知ることができる各種資料や、人々の中にあるまちの記憶の散逸・消失を防ぎ、歴史を途切れなく記録することができる。今を生きる市民や将来の市民に受け継がれ、まちづくりに役立てることができる。 資料の掘り起こしや編集・普及活動を市民とともに行うことにより、まちづくりの原動力である「たかはま大好き」「住んでいるまちをより良くしたい」の想いを高めることができる。											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）	
	新編高浜市誌『高浜市のあゆみ』を発行する。										令和2年12月	
令和2年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
	16,750 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
						400		16,350				
事業費積算内容	市誌編さん業務委託料 1,340千円					シンポジウム講師謝礼 135千円						
	市誌編さん委員会委員報酬 93千円					印刷製本費 4,947千円						
		市誌編さん調査謝礼 9,960千円					費用弁償 3千円					
		特別旅費 79千円					普通旅費 2千円					
		消耗品費 170千円					通信運搬費 21千円					
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	資料整理											
	編さん過程に関する情報発信・市民への協力呼びかけ											
	部会ごとの補足調査・執筆及び編集								刊行			
	編さん委員会						編さん委員会					
	発刊記念シンポジウム											
予算書及び予算説明書該当ページ		227ページ										

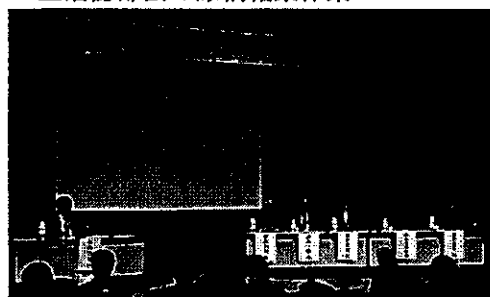
これまでの主な取組と成果

事業年度	平成28年度 ~ 令和元年度	総事業費	35,697 千円																
これまでの主な取組と成果	基本方針の作成、編さん委員会や編集委員会の組織、内規等の作成など、基本的な体制を平成28年度に整え、平成29年度から30年度にかけて、調査執筆者を中心として資料調査を実施した。 令和元年度は、これまでの調査成果をふまえた執筆活動を行っている。また調査や執筆と同時に、今回の編さんにおいて基礎資料となる郷土資料館資料の整理を進めており、こちらは継続してリスト作成や写真撮影を進めている。調査や資料整理には市民にも関わっていただき、専門家だけでなく「市民と共につくる」というコンセプトを実行に移している。 なお、調査成果のアウトプットの場としてタカハマ！まるごと宝箱事業と連携し、調査に関わった市民が成果発表する場を創出すると共に、新たな市民調査員の発掘にも努めている。																		
	令和元年度(予算)	取組内容	事業費(経費) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="5" style="text-align: center;">財源内訳(単位:千円)</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">国庫支出金</th> <th style="width: 15%;">県支出金</th> <th style="width: 15%;">地方債</th> <th style="width: 15%;">その他</th> <th style="width: 15%;">一般財源</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">12,528</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">26</td> <td style="text-align: center;">12,502</td> </tr> </table>			財源内訳(単位:千円)					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	12,528			26
財源内訳(単位:千円)																			
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源															
12,528			26	12,502															
主な経費	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・市誌編さん業務委託料 1,980千円 ・市誌編さん委員会委員報酬 93千円 ・市誌編さん調査謝礼 6,899千円 ・臨時職員賃金等 2,113千円 </td> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム講師謝礼 108千円 ・印刷製本費 673千円 ・消耗品費 406千円 </td> </tr> </table>				<ul style="list-style-type: none"> ・市誌編さん業務委託料 1,980千円 ・市誌編さん委員会委員報酬 93千円 ・市誌編さん調査謝礼 6,899千円 ・臨時職員賃金等 2,113千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム講師謝礼 108千円 ・印刷製本費 673千円 ・消耗品費 406千円 													
<ul style="list-style-type: none"> ・市誌編さん業務委託料 1,980千円 ・市誌編さん委員会委員報酬 93千円 ・市誌編さん調査謝礼 6,899千円 ・臨時職員賃金等 2,113千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム講師謝礼 108千円 ・印刷製本費 673千円 ・消耗品費 406千円 																		
平成30年度(決算)	取組内容	事業費(経費) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="5" style="text-align: center;">財源内訳(単位:千円)</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">国庫支出金</th> <th style="width: 15%;">県支出金</th> <th style="width: 15%;">地方債</th> <th style="width: 15%;">その他</th> <th style="width: 15%;">一般財源</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">11,950</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">57</td> <td style="text-align: center;">11,893</td> </tr> </table>			財源内訳(単位:千円)					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	11,950			57	11,893
	財源内訳(単位:千円)																		
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源															
11,950			57	11,893															
主な経費	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・市誌編さん業務委託料 2,030千円 ・市誌編さん委員会委員報酬 41千円 ・市誌編さん調査謝礼 5,771千円 ・庁用器具費 415千円 </td> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム講師謝礼 109千円 ・印刷製本費 564千円 ・消耗品費 971千円 ・臨時職員賃金等 1,974千円 </td> </tr> </table>				<ul style="list-style-type: none"> ・市誌編さん業務委託料 2,030千円 ・市誌編さん委員会委員報酬 41千円 ・市誌編さん調査謝礼 5,771千円 ・庁用器具費 415千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム講師謝礼 109千円 ・印刷製本費 564千円 ・消耗品費 971千円 ・臨時職員賃金等 1,974千円 													
<ul style="list-style-type: none"> ・市誌編さん業務委託料 2,030千円 ・市誌編さん委員会委員報酬 41千円 ・市誌編さん調査謝礼 5,771千円 ・庁用器具費 415千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム講師謝礼 109千円 ・印刷製本費 564千円 ・消耗品費 971千円 ・臨時職員賃金等 1,974千円 																		

資料等(位置図等)



▲生活誌部会の原稿編集作業



▲市誌の中間発表という位置づけで開催した「たかはま 歴史まちづくりシンポジウム」

聞き書き	2039	2059	2079	2099
	2040	2060	2080	2100
	2041	2061	2081	2101
	2042	2062	2082	2102
	2043	2063	2083	2103
	2044	2064	2084	2104
	2045	2065	2085	2105
	2046	2066	2086	2106
	2047	2067	2087	2107
	2048	2068	2088	2108
	2049	2069	2089	2109
	2050	2070	2090	2110
	2051	2071	2091	2111
	2052	2072	2092	2112
	2053	2073	2093	2113
	2054	2074	2094	2114
	2055	2075	2095	2115
	2056	2076	2096	2116
	2057	2077	2097	2117
	2058	2078	2098	2118

▲新編高浜市誌『高浜市のあゆみ』資料②「高浜のやきもの産業とくらし」